

9 参議院議員通常選挙の臨時啓発

(1) 啓発事業概要

第24回参議院議員通常選挙及び鹿児島県知事選挙に係る啓発事業の概要

1 啓発方針

近年における選挙については、20歳代から30歳代の若年層を中心に、低投票率の傾向にあり、第24回参議院議員通常選挙及び平成28年7月10日執行鹿児島県知事選挙においても、同様の傾向が危惧される。

については、主として新有権者となる18・19歳はもとより若年層の投票率向上に効果的な選挙啓発を企画し、広く県民に対し投票日の周知や棄権防止等と呼びかける。

2 ポスター等について

(1) 企画の趣旨

今回から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことから、若年層を中心に投票率の向上を図るため、鹿児島県出身のファッションモデル 塗木莉緒を起用した。平成27年に東京ガールズオーデションで5冠を獲得し、若者からの注目度も高く、自身も鹿児島での選挙権を得たばかりの19歳。モデルとしての存在感、そして新有権者と同じ目線で、若者を中心に多くの県民に届く啓発を行えると考えている。

(2) 発行部数

ア ポスター

7,783枚(B 2 : 2,690枚, B 3(一般向け) : 3,943枚, B 3(STEPデザイン) : 550枚,
B 3(交通媒体用) : 600枚)

イ チラシ

1,121,000枚(A 4(一般向け) : 821,000枚, A 4(学生向け) : 300,000枚)

(3) 配布先

ア 一般向けのポスターは、県内の国・県の関係機関、市町村、学校(大学、専門学校等)、企業、団体、JR駅、デパート、スーパー等に配布

イ STEPデザインのポスター、学生向けチラシは、高校・大学等にのみ配布

ウ 一般向けチラシは、県内の全戸に配布

3 他の啓発事業

(1) テレビスポット(民放4局 15秒 各社30本以上) 6月23日から18日間

(2) ラジオスポット(民放2局 20秒 各社30本) 6月23日から18日間

(3) 新聞等広告(南日本新聞7月9日・10日、奄美新聞7月3日・9日、南海日日新聞7月3日・9日 半5段 各1回)

- (4) 懸垂幕の掲出(市町村, 商業施設96本)
- (5) 広報用CD・SDカードの配布(各市町村, 県出先機関)CD83枚, SDカード53枚
- (6) 屋外ビジョンCM放送(5カ所 15秒 全4,000本)等
- (7) インターネット広告
 - ア Yahoo!Japanへバナー掲出(①7月1日から10日間, ②7月4日から7日間)
 - イ Gyaoによる動画広告(6月25日から16日間)
 - ウ You Tubeによる動画広告(6月25日から16日間)
- (8) 交通広告(市電, 市バス, 民間バス 6月24日から17日間 計540枚)
- (9) シティースケープ(15面 6月27日から7月10日)
- (10) 書店プロモーション(TSUTAYA 各店チラシ配布10,000枚 ポスター掲出10店舗 レジ袋封入2,000式)
- (11) ローソン, ファミリーマート レジ画面広告
- (12) ウェットティッシュ(一般向け3,000個, 学生向け2,000個) 計5,000個
 - ア 7月2日(土)に塗木莉緒さん, 大学生, 高校生などと共に天文館で街頭啓発実施
 - イ 7月9日(土)に大学生などと共に鹿児島中央駅とイオンモール鹿児島で街頭啓発実施
- (13) キャラバン啓発(6月22日 鹿児島市内高校訪問)
 - ア 塗木莉緒さん訪問
- (14) 啓発イベント(7月3日 トーク&ファッションショー 天文館ぴらもーる)
 - ア 塗木莉緒さん参加

(2) 啓発スケジュール

[illegible]

(3) 啓発事業

キャッチフレーズ

なし

起用キャラクター

塗木莉緒(モデル)

媒体名	事業概要	実施期間
新聞広告	南日本新聞、南海日日新聞、奄美新聞 それぞれ半5段 モノクロ 2回 ※統一素材①	7月3日・9日(南海・奄美) 7月9日・10日(南日本)
テレビスポットCM	南日本放送 15秒 30本、鹿児島テレビ 15秒 34本、鹿児島放送 15秒 34本、鹿児島読売テレビ 15秒 30本	6月23日～7月10日
ラジオスポットCM	南日本放送 20秒30本、エフエム鹿児島 20秒30本 60秒4本	6月23日～7月10日
雑誌広告	実施せず	
交通広告(車内・駅)	鹿児島市バス 17日 B3 175枚	6月24日～7月10日
	鹿児島市電 17日 B3 49枚	
	鹿児島交通路線バス 17日 B3 220枚	
	南国交通路線バス 17日 B3 100枚	
ポスター	B2 2,678枚 B3 4,435枚	6月23日～7月10日
チラシ	A4両面 1,014,418枚	6月23日～7月10日
広報誌	県政かわら版	
点字広報	選挙のお知らせ(選挙区) 993部	
	選挙のお知らせ(比例代表) 993部	
ホームページ	ポスターの画像データを掲載	6月23日～7月10日
SNS	フェイスブック、ツイッター、インスタグラムで投票日の周知と投票参加の呼びかけ	6月23日～7月10日
バナー広告	Yahoo! JAPANプライムビジョン、ブランドパネル	7月1日～7月10日
インターネット動画広告	GyaO! プラチナインストリーム、YouTube TrueView	6月25日～7月10日
モバイルメール広告	実施せず	
ムービースポット	実施せず	
文字放送	実施せず	
懸垂幕・看板	懸垂幕 113枚、シテースケープ 19面	6月28日～7月10日
電光ニュース	鹿児島市 4か所、始良市 1か所	6月24日～7月10日
広報車	各市町村、県関係機関、県(CD等 136組作成)	6月24日～7月10日
街頭啓発・イベント等	別紙1のとおり	
啓発資材	ウェットティッシュ 5,000個	
その他(コンビニレジ画面広告)	県内のファミリーマート、ローソン	6月23日～7月9日
その他(選挙のお知らせ音声版)	選挙区カセット版 274本、DAISY版265本	
	比例カセット版 274本、DAISY版265本	
その他(媒体名記載)	【テレビパブリシティ】南日本放送 60秒 1本、鹿児島テレビ 60秒 1本、鹿児島放送 60秒 1本、鹿児島読売テレビ 60秒 1本 【ラジオパブリシティ】南日本放送 10分 1本、エフエム鹿児島 10分 1本	

(4) 街頭啓発の事業概要

※実施風景等の画像があれば、電子データ(jpeg、pdf等)を添付してください。

1 街頭啓発

場 所:天文館, 鹿児島中央駅, イオンモール鹿児島

日 時:7月2日(天文館), 7月9日(鹿児島中央駅, イオン)

参加者:鹿児島県選挙管理委員会, 鹿児島市選挙管理委員会, 鹿児島県明るい選挙推進協議会,
鹿児島市明るい選挙推進協議会, 学生投票率100%をめざす会

内 容:啓発物資のウェットティッシュを配布しながら, 投票参加への呼びかけを行った。

2 イベント①

場 所:天文館

日 時:7月3日

参加者:福元ゆみ(ラジオパーソナリティー), 塗木莉緒(モデル), 小川智康(NPO法人YouthCreate),
鹿児島レディスカレッジ学生20名, 鹿児島城西高校生徒45名

内 容:選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことや投票方法に関するトークショー, 専門学校生と高校生による
ファッションショーなどを行うことで, 投票参加への呼びかけを行った。

3 イベント②

場 所:鹿児島高校

日 時:7月3日

参加者:塗木莉緒(モデル)

内 容:高校の放送室をジャックして行うラジオ番組があり, その番組にゲストとして塗木莉緒が出演し, パーソナリ
ティーと選挙に関するトークを行って投票参加の呼びかけをした。

(5) テレビスポット等による啓発

- カメラに向かってまっすぐ語りかける
塗木さん。(背景は中央駅前広場)



Na(塗木さんの声)

この人生は、
一度きり。

- カメラに向かってまっすぐ語りかける
塗木さん。(背景は天文館アーケード)



叶えたい夢が
いっぱいあるから、

- カメラに向かってまっすぐ語りかける
塗木さん。(背景は中央公園)



わたしは今、

- カメラに向かってまっすぐ語りかける
塗木さん。(背景は中央公園)



投票します。

- 塗木さんアップ
- 「未来を、つくろう。」



未来を、
つくろう。

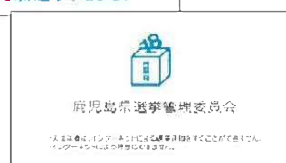
- 白色バックに投票日と
詳細説明スーパー。



Na(ナレーション)

7月10日は
参議院議員通常選挙
及び、
鹿児島県知事選挙の
投票日です。

- 白バックに投票箱に「18」の数字が入る。
- 鹿児島県選挙管理委員会の文字。





決める未来。

私たちが、

選挙で人を選ぶ権利

18歳から持つことができる

2019年7月9日（月）

7.10日

Shinichi
選挙制度研究 選挙戦略

参議院議員通常選挙 鹿児島県知事選挙

投票時間 / 午前7時～午後8時（一部の地域を除く）

期日前投票 ◎ 6月23日㊟～7月9日㊟ ㊟ 6月24日㊟～7月9日㊟

私たちが主役の**18**歳選挙、始まる。🗳️

18歳投票スタート!

選挙 Q & A



投票に
行きましょう!

Q

選挙に参加することができる年齢が「18歳以上」に引き下げられたのは、なぜですか?

A

若者の意見や考え方を政治に届きやすくするためです。18歳や19歳の若者は、自らの考え方を持っていて、ものを十分に判断できる力があるという意見があります。広く政治に若者が参加するように促すことは、民主主義の発展にとって大切なことです。このような考えから、70年ぶりに選挙権年齢が改正され、従来の「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられました。わが国では少子高齢化が進行していて、有権者に占める高齢者の割合が上昇しています。そうした中で、選挙権年齢を引き下げ、若者の意見や考えを政治に届きやすくすることによって、若者の政治的な影響力が高まることが期待されます。

Q

投票に行って、どんなメリットがありますか?

A

選挙は、日々の暮らしの中で私たちが持っている意見や願いを政治に反映させる貴重なチャンスです。私たちのくらしは、いたるところで政治と深くかかわっています。私たちは日々の暮らしの中で、いろいろな希望や願いを持って生活しています。豊かなくらしや理想的な社会を実現していくために、政治の役割は重要です。この政治を行う代表者を選ぶのが選挙です。私たちの代表として、国や地方の政治をまかせるのですから、選挙はとても大切です。貴重な一票を投じることで、私たちの意見や願いが政治に反映されやすくなります。

Q

若者の投票率は低いと聞きますが、選挙には本当に行かなければいけませんか?

A

近年、国政選挙、地方選挙を問わず若い世代の投票率は、際立って低い状況となっています。今のわが国では、少子高齢化により、若者の人口は、他の年齢層に比べて少なくなっています。そのうえ、若者の投票率は、他の年齢層に比べて全般的に低く、政治に若年世代の力が届きにくい状況と言えます。豊かなくらしや理想的な社会を望む願いを「投票」という形で意思表示しないと、なかなか政治に届きません。あなたが投じる一票は、政治を動かす力につながります。少子高齢化で若者の役割が重要性を増している現在、わが国の未来を担う若者の意見を政治に反映させるために、若者のみなさんも投票に参加することが大切です。

投票上の注意

よく読んで投票しましょう!

投票場所 指定された投票所

投票時間 午前7時～午後8時

1

投票所入場券を持って
指定された投票所へ
行きましょう。

入場券は投票用紙と一緒に投票箱に入れる必要があります。入場券を失くした場合は、投票所長に申し出て再発行してもらってください。

2

投票用紙の色は
「選挙区選挙」が「クリーム色」、
「比例代表選挙」が「白色」、
「知事選挙」が「あざき色」です。

3

選挙区・知事選挙の投票用紙には、
一人の候補者だけを
記入して投票してください。

他の候補者も記入すると無効となります。

4

比例代表選挙の
投票用紙には、
候補者名または政党等名を
記入してください。

期日前投票

投票日に仕事や用事、旅行等の予定がある人は、期日前投票ができます。
なお、投票に際しては、期日前投票の事由に該当する旨の宣誓書の記載が必要です。

期日前投票ができる
投票場所
市町村の市役所・
町村役場等に
設けられる期日前投票所

市町村のホームページ等で投票所が設けられる場所が公表されます。

期日前投票ができる投票期間

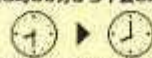
参議院議員通常選挙 6月23日(土)～7月9日(土)
鹿児島県知事選挙 6月24日(日)～7月9日(土)
(一部の地域を除く)

投票所は、投票日の前日(6月22日)の夜間(午後8時から翌朝7時)まで開票します。



期日前投票ができる
投票時間

午前8時30分から午後8時まで



投票所は、投票日の前日(6月22日)の夜間(午後8時から翌朝7時)まで開票します。

未来を、つくる。

7.10

日

この人生は、一度きり。
悩んだり、迷ったり、
色々なことがあるけど、
素晴らしい未来が待っている。
叶えたい夢が
いっぱいあるから、
わたしは今、投票します。

参議院議員通常選挙 鹿児島県知事選挙

投票時間 / 午前7時～午後8時（一部の地域を除く）

期日前投票 参 6月23日（木）～7月9日（土） 知 6月24日（金）～7月9日（土）

私たちが主役の18歳選挙、始まる。



鹿児島県選挙管理委員会 鹿児島県明るい選挙推進協議会

Shinichi
鹿児島県知事 選挙 選挙 選挙

学生の未来を選択してみませんか？



私たちが主役の 18歳選挙、始まる。 参議院議員通常選挙 鹿児島県知事選挙

投票時間 / 午前7時～午後8時（一部の地域を除く）

7.10日

期日前投票

参 6月23日(木)～7月9日(土)

知 6月24日(金)～7月9日(土)

鹿児島県選挙管理委員会 鹿児島県明るい選挙推進協議会

— 学生投票率100%をめざす会 —

STEP

Students are Thinking about Election Press

明るい選挙推進運動の一環として、学生投票率100%を目指し、鹿児島県で活動しています。
鹿児島県の大学生約20名で、月1回の勉強会や選挙啓発活動、模擬選挙の出前授業などを行い、学生の選挙に対する関心や政治意識の高揚を図っています。

コンセプト

- (1) 若者の視点で新しい鹿児島の啓発事業を行う。
- (2) 同世代の立場で投票参加を呼びかける。
- (3) 学生に政治や選挙について考える機会を提供する。

主な活動内容

- (1) 毎月1回の会費による勉強会
- (2) 成人式における啓発
- (3) 大学祭における選挙啓発
- (4) 各種選挙における街頭啓発

(6) 委員長談話

平成 28 年 7 月 10 日執行の参議院議員通常選挙及び鹿児島県知事選挙に係る
県選挙管理委員会委員長談話

7 月 10 日は参議院議員通常選挙及び鹿児島県知事選挙の投票日です。

今回の選挙は、70 年ぶりの選挙権年齢引下げにより、選挙権年齢が 18 歳以上となつて、国政選挙及び知事選挙では初めての適用となる選挙です。また、現下の厳しい社会経済情勢の中で、今後の日本と鹿児島の進路を方向付ける極めて重要な選挙であります。

しかしながら、昨年 4 月に行われた鹿児島県議会議員選挙の投票率が戦後最低となるなど、近年の選挙において投票率の低下傾向が続いていることは民主主義にとって憂慮すべきことであり、今回の選挙においても、投票率の低下が懸念されるところです。

申すまでもなく、選挙は民主主義の根幹をなすものであり、私たちが主権者として自ら政治に参加し、その意思を反映させることのできる大切な機会です。

有権者の皆様におかれましては、国政における国会の果たす役割、県政における知事の果たす役割について認識を深め、主権者としての良識のもとに、候補者や政党等の主義・主張を十分に見極めて、棄権することなく、我々の代表者を選ばれることを希望します。

特に、選挙権年齢の引下げにより新たに有権者となつた方々を始めとする、若い世代の方々には、70 年ぶりの選挙権年齢引下げという歴史的な意義を感じていただくとともに、日本と鹿児島の将来を託す代表者を選ぶ選挙の主役は、一票を投じる自分たち自身であるという認識の下に、若い英知を傾けて、一人でも多くの方々に投票していただくよう心から期待します。

平成 28 年 7 月 8 日

鹿児島県選挙管理委員会
委員長 鎌田 六郎

平成 28 年 7 月 10 日執行の参議院議員通常選挙及び鹿児島県知事
選挙に係る県選挙管理委員会委員長談話

今回の選挙の投票率は、参議院鹿児島県選出議員選挙が 55.86 %、県知事選挙が 56.77 %となり、前回選挙と比較すると、参議院鹿児島県選出議員選挙が 5.44 ポイント、県知事選挙が 12.92 ポイントの、いずれも増となりました。

今回の選挙は、70 年ぶりの法改正により、選挙権年齢が 18 歳以上となって、国政選挙及び知事選では初めての適用となる選挙でした。さらに、参議院議員及び県知事の同日選挙ということもあり、県民の関心も高く、注目されていました。それだけに、選挙権年齢の引下げにより新たに有権者となった方々をはじめとして、投票率の向上が期待され、当委員会としても市町村選挙管理委員会、県明るい選挙推進協議会、学生投票率 100 %をめざす会等々、諸関係機関・団体等の協力を得ながら、さまざまな手段を用いて啓発を行ったところです。幸いにも有権者の御理解をいただき、結果として前回よりも高い投票率となりました。

選挙は自分達の将来を託するに足る代表者を選ぶ大切な機会であり、その選挙の主役は、一票を投じる自分たち自身であることを、若い世代をはじめとした有権者の方々に対して周知を図ることで、一人でも多くの方々に大切な権利を行使していただけるよう、今後も選挙啓発に取り組んで参りたいと考えています。

平成 28 年 7 月 11 日
鹿児島県選挙管理委員会
委員長 鎌田 六郎